

平成28年司法試験 合格体験記

平成24年度修了（既修コース）関谷 優子

こんにちは、7期の関谷優子と申します。私は学部・大学院と通じて岡山大学にお世話になりました。大変恐縮ですが、私の受験生活について少しお話させて頂きたいと思えます。あまり参考にはならないかもしれませんが、皆さんの一助となれば幸いです。

在学中は、授業の予習復習に加え、友人と答練ゼミを行っていました。しかし、当時の私はただ過去問を解き、出題趣旨等や模範答案を確認するにとどまっていた。このとき、もっと各年度の問題を比較分析し、例年間われている共通事項を見出し検討すべきであったと反省しております。

大学院を修了し岡山を離れた後は、仕事と主婦業との両立が課題でした。確保できる日々の勉強時間が2～3時間でしたので、工夫して計画的に勉強を続けることにしました。具体的には、まず取り組むものを過去問と予備校の予想問題に絞りました。過去問は出題趣旨と採点実感を何度も読みながら答案構成し、特に次回出題された場合に行けないといけないもの、私には無理と割り切るものを区別しました。また、最近は便利なものがあるなあと思わず感心してしまったのですが、短答対策は携帯電話の択一問題アプリを利用しました。これは通勤通学の移動中や隙間時間に最適です。

私が心掛けていた事として、「壁にペンキを塗るように学習すること」があります。これは、在学中に井藤先生が私たち学生に紹介して下さった合格者体験記の中にあつた言葉です。基本書や問題集の序盤から全部をしっかりと頭に叩き込もうと力んで読み進めますと、やはり途中で挫折してしまいます（私はそのようなタイプでした…）。一度で全て習得しようとしなない、わからなくても逐一立ち止まらず、その代わり二度目、三度目…と繰り返す。濃く一度塗りで終わるのでなく、薄くであっても何度も重ねてみる。このように、ペンキを塗り重ねて壁全面を綺麗に仕上げていくのと同じ様に、法律の理解も深めていくものだという事を学びました。

以上、冗長になってしまいましたが、私の反省や実感が少しでも皆さんのお役に立てますと嬉しいです。

最後になりましたが、私は岡山大学で学ぶことができ本当に良かったと感じております。岡山大学は先生と生徒間、また生徒同士の距離が近く、アットホームな雰囲気があります。大学を離れた後も修了生にメールを下さり、また親身になって相談に応じて下さった優しい先生方、後輩のために準備しゼミを開いて下さった先輩、私達の様子をみながらいつも温かいお声掛けをして下さる事務スタッフの方、皆様に沢山お世話になりました。心より感謝申し上げます。